# リーディングDXスクール事業　【実践事例】

座間市立西中学校

## 【取組内容】　A個別最適な学びと協働学習の一体的な充実「スプレッドシートの活用」

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 気候の特色 | ヨーロッパの気候の特色がよくわかった。今まで習ったことが全部つながって、覚えやすかった。 |
| 2 | 文化 | キリスト教の中でも様々なことがあって、信仰の仕方が違うことに驚いた。日本はひとつの宗教だけじゃないのに、信仰の仕方などで揉めたりしないのは不思議だと思った。 |
| 3 | EU | 一つ一つの国が小さいからこそちゃんと考えて、協力するということを思いつけたのはすごいことだと思った。 |
| 4 | 工業 | 国を超えて分業をするというのは、日本にはできないことだとおもって、すごいと思った。そもそも州だからといってこんなに固く、国同士がつながっていることはとても珍しいことなんじゃないかと思う。だから、東ヨーロッパの人たちも、EUに加盟しようとしたんじゃないか。 |
| 5 | 農業 | EUは関税がかからず、共通の硬貨のために輸出入がしやすいが、そうすると国産のものが少ないのではないかと思った。生産して、どんどん輸出し、どんどん輸入するから、EU内の違う国のものばかりになってしまうんじゃないだろうか。 |
| 6 | EUの課題 | 東ヨーロッパは、西ヨーロッパに比べ、最低賃金が低い。東ヨーロッパと西ヨーロッパでは、経済格差がうまれている事がわかった。中国の方でも経済格差が生まれていると習ったが、２つとも、経済成長したための問題点だった。中国の方では、経済成長したための問題点として、環境問題も挙げられていた。EUのほうでもどうなのか、調べてみたい。 |

**これまでの学習を振り返り、ヨーロッパが抱える課題についてまとめよう。**

統合を進めてきたEUでは、東ヨーロッパと西ヨーロッパの間で経済格差が生まれており、働く場所を探して、東ヨーロッパから西ヨーロッパに移する移民が増えている。そのため、西ヨーロッパでは、違う言語や、異なる宗教を持つものが増え、自国の民が生きづらくなっており、移民が増えたため、西ヨーロッパでの仕事がどんどん減ってしまっている。また、東ヨーロッパでは、多くのものが西ヨーロッパへ移住してしまい、こちらも、自国のものがいなくなってしまう、「くうどう化」が起きている。

振り返りや目標をスプレッドシートに記録していくことで、書くことが苦手な生徒のサポートになったり、短時間でまとめることができるようになった。
また個々の生徒の必要なタイミングで確認できるようになった。

**各地方を学ぶ中で以下の項目に注目しながら特色や課題をまとめていきましょう！**
**（重要だと感じるキーワードを中心として）**

| 自然環境 | 産業 |
|---|---|
| ◎九州地方の都道府県<br>なは<br>・沖縄県…那覇市　※沖縄以外は県名と県庁所在地名同じ<br>◎九州地方、沖縄の気候の特徴<br>・気温が高い＝南西諸島（太平洋側）は夏の降水量が多く、冬は乾燥している。季節風、緯度（赤道に近い）が関係。<br>◎九州地方、沖縄の地形<br>・桜島や雲仙岳などの火山が多い。<br>・カルデラ…山が崩れてできた巨大な穴。阿蘇山にある。<br>・リアス海岸…九州の北西部にある海岸線。<br>・大陸棚…全国有数の漁獲量を誇る長崎県に広がるもの。 | ◎九州地方で行っている農業<br>○九州北部　そくせい<br>・穀物類、二毛作、促成栽培…冬でも温暖な気候であるため。<br>・ビニールハウスの生鮮野菜…福岡市が大消費地であるため。<br>○九州南部<br>・さつまいも、野菜、茶…水が安定して得られるため。<br>・畜産（豚、鶏、肉牛）…やせた土地が多いため。<br>○南西諸島<br>・さとうきび…温暖な気候を好み、日照りや台風に強いため。<br>・菊、パイナップル、マンゴー…気温が高いため。 |
| **人々の生活・文化など** | **その他（気になったところなど）**<br>**※なければ書かなくてもOK** |
| ◎九州地方の火山<br>～デメリット～<br>・桜島…鹿児島県鹿児島市から4km程離れた場所にある火山。<br>・火山灰…火山の噴火で最も日常生活に影響を与えている。（噴石、火砕流）<br>⇨シェルター（待避壕）が設置されていて、緊急避難ができる。<br>・2011年の年間噴火回数は、996回。＝1日2回以上、3回未満<br>～メリット～<br>・温泉…地下水が溜まって作り出すことができる。<br>・地熱発電所…火山活動で生じる、地熱から電力を得る発電所。 | ◎九州地方の農業の特色<br>・日本で最も南に位置することもあり、全体的に比較的温暖な気候。<br>⇨気候を生かした作物を育てることが多い。（穀物、さつまいもなど）<br>・土地がやせているため、肥料を入手するための家畜の飼育（畜産）が盛ん。<br>⇨温暖な気候なため、牧草が冬でも育ちやすい。 |

**持続可能な社会を目指して**

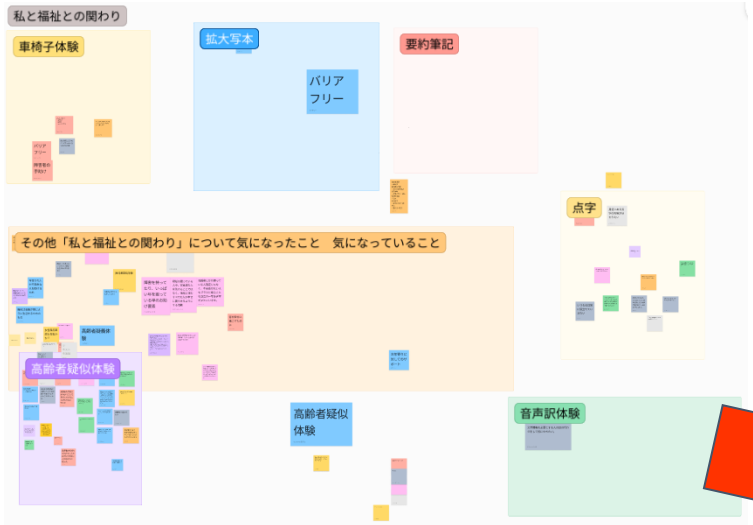
**「人々の生活を改善したり、産業を発展させるためには、どのような取り組みを行うとよいだろう？」**

◎人々の生活を改善するには?
・洪水を防ぐために、川の周りに高いフェンスや石造の壁などを作る。
⇨川の水量が多くなった時に、水が街に広がるのを最低限に留める事ができる。
・ダムのような感じで、川の水をいつでも流し込めるように開けしめできる扉のようなものを作る。
・がけ崩れを防ぐために、過去崩れた山の斜面などにコンクリートで固める。
⇨崩れるのを止め、被害を抑えられる。
◎産業を発展させるには?
・火山活動による影響を活かす。
⇨○日頃から降ってきてしまう火山灰を、観光スポットとして施設を建てる。（火山噴出物の博物館、資料館など）
➡外国人観光客などに対し、日本の文化を知らせることができる。
○地熱発電の仕組みや火山の仕組みがわかるチラシなどを作る。
➡どんな人でも、火山や暮らし方について知り、興味を持つことができる。

# リーディングDXスクール事業　【実践事例】

座間市立西中学校

## 【取組内容】　B情報活用能力の育成　における総合学習の展開




総合学習を通し、今までよりも多くの情報の中から、情報の収集、整理、分析、まとめ・表現　を行った。
課題や目標を自ら設定し、他者参照を行うことで、情報の収集からまとめまで取り組ませた。

| 個人テーマ | 今日の目標 | 授業中困ったとき用 | 振り返り | 次回の課題設定 | 目標達成 |
|---|---|---|---|---|---|
| 障害で不自由な人の辛さを知る | どのような障害があるかを知る | | どのような障害があるのかをしれた | 障害の内容をもっと知 | ○ |
| 高齢者の生活について感じどうしたら一番助かるかを知る。 | 福祉によってどのように助かるのかを知る | | 少しだけど情報収集ができた | もっと調べ、どのよう | ○ |
| | | | | | |
| 接していくのか。 | 障害を持っている人とどのように接す | | 調べて紙にメモした | もっと詳しく調べる | ○ |
| その助けとして何が必 | 高齢者と障害者の不便を知る | | 高齢者、障害者どちらにも違う不便なところを知れた | いろいろな情報を詳し | ○ |
| 障害者にとって困っていることは何か。 | スライドとかにキーワードとかを書く | | 今日は情報を集めてスライドも少しできた。 | 次回は情報をまとめて | ○ |
| はどのようなことをすればよい にか。 | 福祉を利用している人の大変さを知る | | 大変さっていうよりどのような活動をしているか知れ | 今日決めたテーマについ | △ |
| の大変さを理解しこれからの関わり方はどう のか | 障害をもっている人はどんなことが大 | | ちょっとだけ調べてメモを取ることができた | テーマについての情報 | ○ |
| 障害を持っている人達が困っていることなどを知る。 | | | | | |
| 障がい者と健常者の壁　壁をなくすためにはどうしたらいいのか | 福祉や障がいを持っている人の困って | | | | |
| どんな人のための福祉なのか知る。 | どんな人が福祉なのかを知る | | 何も出来ていない | 次はできるようにする | X |
| 障害者のために私ができることはなにか。 | どのような工夫が障害者の生活を支え | | ちゃんと工夫があることがわかった。 | 障害者の生活に必要な | ○ |
| | | | 子ども | | |

# 福祉学習

## 大テーマ：「わたしと福祉との関わり」

個人テーマ：障害者からする不便なことを知り、僕達にできることを知る。

# リーディングDXスクール事業　【実践事例】

座間市立西中学校

## 【取組内容】　３Ｂ　端末持ち帰りによる日常的な家庭学習の工夫　振り返り学習

テニス　１１月１９，２２日　目標　しっかりと打てるようにする

良いところ
・下から打てた
・下がってから打てた
・体の横にボールが行くように意識できた
・ボールが１リバウンドして下がってきてからを意識して打てた

悪いところ
・手が伸びていて固定できていない
・面が開いている

改善点
・下から上に打つときにしっかりと真ん中で打てるようにボールをよく見てゆっくり落ち着いてうつ
・肘をどれだけ伸ばすかとかを考えてやってみる
・打つ前のラケットの位置は体より後ろで腕を行けるところまで上げたところで面が上を向く形になるようにする　それを習慣づける

12月4日(水)評価　A　目標　狙ったところに打てるようにする

最初

・打つときの強さがわからなかった
　↳相手の打ちやすいところに打ったりすることができなかった
・コントロールをして打つことができなかった
・ラリーをしても全然続かなかった
・ボールとの距離感が全然わからなかった
・打ったあとに後ろに戻っていない
　↳ボールに追いつけなくて打てなくなる
・ボールを打つ時に前で打てていない（後ろで打っている）

来年もやる時が来たらこのことを活かしてもっといろんな球が取れるようにする

最後

・打つときに強く打ちすぎたり弱く打ちすぎたりしないでしっかりと打つことができた
・コントロールをしっかりとできた
・ボールとの距離感をしっかりと保ち自分の打ちたいところに打つことができた
・ボールを打ったあとすぐに後ろのラインぐらいまで戻って次の球に向けてしっかりと準備をして待つことができた
・前で球を捉えてより自分の自由に打てたりすることができた
・ラリーをするときにすごくラリーが続いたり、自分が打った球が相手にとって打ちやすいところに行くと相手もラリーを続けられると思うのでこれからも続けていきたい

保健体育科統一で授業での学びをスライドにまとめた

１週間の授業で学んだことや振り返りを自宅学習としてまとめることで客観的に自分を見つめ直す時間を作った。
また、家庭で気になったことを調べることもでき、学びを深めることに有効であった。

# リーディングDXスクール事業　【実践事例】

座間市立西中学校

## 【取組内容】　端末持ち帰りによる家庭での学活連絡の確認

2 学期　期末 テスト 学習計画表1

| | 英語 | 数学 | 音楽 | 社会 | 保体 | 技家 | 国語 | 理科 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 目標の点数 | | | | | | | | | 0 |
| 結果の点数 | | | | | | | | | 0 |
| 必要な学習時間 | | | | | | | | | 0 |

<テストに向けてやること>

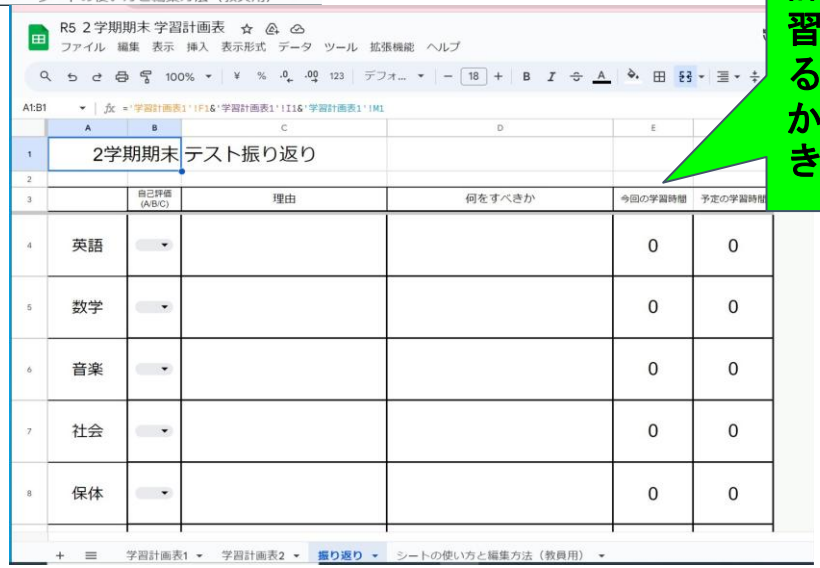
| | |
|---|---|
| 英語 | |
| 数学 | |
| 音楽 | |
| 社会 | |
| 保体 | |
| 技家 | |

2 学期　期末 テスト 学習計画表2

<学習計画>　＊ 自己評価　A よくできた　B できた　C できなかった

| 月/日（曜） | 自分の予定 | 英語 | 数学 | 音楽 | 社会 | 保体 | 技家 | 国語 | 理科 | 計 | 上段：何をやるか 下段：何をやったか | 自己評価 (ABC) | 残り日数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 例 | 部活(AM) 塾(6～8時) | 20 / 10 | | | | | | | | 20 / 10 | | B | |
| 11/1(水) | | | | | | | | | | 0 / 0 | | | 14 |
| 11/2(木) | | | | | | | | | | 0 / 0 | | | 13 |
| 11/3(金) | | | | | | | | | | 0 / 0 | | | 12 |
| 11/4(土) | | | | | | | | | | 0 / 0 | | | 11 |
| 11/5(日) | | | | | | | | | | | | | 10 |

上の段：予定時間
下の段：実際の時間



R5 2学期期末 学習計画表

2学期期末 テスト振り返り

| | 自己評価 (A/B/C) | 理由 | 何をすべきか | 今回の学習時間 | 予定の学習時間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | | | | 0 | 0 |
| 数学 | | | | 0 | 0 |
| 音楽 | | | | 0 | 0 |
| 社会 | | | | 0 | 0 |
| 保体 | | | | 0 | 0 |

テスト２週間前に目標の点数、各教科取り組むことを書き出し計画を立てる

テスト返却後に計画で入力した学習時間が自動で出るので計画のふりかえりがすぐにできる

紙でやっていた時は忘れたり、失くしたりする生徒がいたのでその心配もなく、学校と家庭でのそれぞれの学習を計画・振り返ることができる